

議 会 だ よ り



千綿小学校の5年生は、田植えから収穫まで関わった稻わらを使って、有川義博さんの指導のもと、毎年しめ縄作りに挑戦しています。



新年 あけまして おめでとう ございます

もくじ

- | | |
|--------|--------------------|
| 2ページ | 12月定例会（補正予算・条例改正等） |
| 3～7ページ | 一般質問（4名） |
| 8～9ページ | 各常任委員会活動報告 |
| 10ページ | 三町議員研修会など |
| 11ページ | 大人の部活動紹介（第2回） |
| 12ページ | 議長年頭あいさつ |

東彼杵町ホームページ
議会情報



主な議案の内容



教育センター分室他6棟の解体工事決定

建物を集約化するため、教育センター分室やむつみ荘などを解体することになりました。（工事完了予定：令和8年3月31日）

契約金額 6,754万円

契約の相手方 株式会社木下工業（大村市）



一般会計補正予算（第5号・6号）

1億4,357万円の追加で、総額69億1,164万円

- ① 教育費に東彼杵中学校トイレ改修工事など410万円
- ② 農林水産業に施設園芸等燃油価格高騰対策緊急支援事業等に993万円
- ③ 災害復旧費に令和7年災農地等災害復旧工事など1,402万円



全員協議会が12月11日に開催されました

- ・重点支援地方交付金（1億3千万円見込み）
- ・新庁舎建設事業の進捗状況及びスケジュール（令和12年2月完成予定）
- ・高齢者配食事業の見直し
- ・社会教育施設等の使用料見直し
- ・庁舎窓口受付期間の短縮



この中でも重点支援交付金について、おこめ券ではなく商品券（1人1万円）の配布と、水道料金の基本料金無料化を強く要望した。



12月定例会は、4名が登壇



質問内容

P. 4 1 道の駅加工センターについて

(大石議員) 2 地域おこし協力隊の制度と運用について

P. 5 1 フッ化物洗口および予防接種の状況について

(構議員) 2 オスプレイの大野原演習場の使用について

P. 6 1 物価高騰の対策は

2 森林環境贈与税の活用は

3 通学路の安全対策は

P. 7 1 そのぎ茶の現状と課題ならびに今後のそのぎ茶振興策について

(吉永議員) 2 ICT 教育等の現状とその課題について

12月4日の一般質問傍聴者は12名でした

※一般質問の動画(DVD)は、図書室(歴史民俗資料館内)にて貸出を行っています！



道の駅 加工センター補助金約2,556万円 株式会社1社への名指し指名、適切なの?



道の駅はもともと公設で、適切です

(本稿は、質問者の責任で作成しています。)



おおいし としろう
大石 俊郎

サーモンによる「ふるさと納税アップ」の見込みは?

【議員】補助金交付の最大目的であつたサーモンの現状と今後の見込みは。

【町長】現時点ではゼロです。今年の夏以降、出来ると伺っています。

【町長】入りのやり方は適切だったのか?

【議員】入札に応募された企業は何社で、落札された企業は。

【議員】応募は5社で落札企業は、町内の山口建築です。

【議員】落札価格は、いくらでしたか。

【町長】町は承知していますが、株式会社彼杵の庄より、落札業者の営業行為に影響があるため開示しないようにしています。

【議員】私の調べでは、2,850万円でした。その結果、株式会社彼杵の庄へ交付された補助金はいくらでしたか。

【議員】入りに町当局は、関与されましたか。

【町長】入り立会人として担当課長1名が、入りに立ち会いました。

【議員】入りに参加された複数業者の話です「課長は式札にハサミを入れるなどしておられた」と。この行為は、適切ですか。

【町長】道の駅はもともと公設でした。重要施設だから町の総力を挙げて支援します。

【議員】補助金交付要綱」告示の時期・内容は適切だったのか?

【議員】議会で補助金交付が議決されたのが、令和5年12月でした。その翌年1月に株式会社彼杵の庄への「交付要綱」が告示されました。

【議員】その時期や一民間企業のためにだけの交付要綱は、法的に適切だったのですか。

【議員】私は適切と思っています。

【町長】補助金の交付は議会が決めたのですよ。大石議員だけが問題視しておられる。お伺いしています。

【議員】私は「一民間企業のためだけの交付要綱は、法的に根拠があるのですか」とお伺いしています。

【町長】(質問に対する答弁なし)

【町長】「A-1の回答から」

民間企業が公益性のある事業を行う場合や地域の活性化などに貢献する事業を行う場合は、補助金の対象となります。

しかし、その場合でも特定の企業を名指しせず、事業内容や要件を満たす応募者を広く募る形が一般的です。(公平性・透明性の確保)

道の駅 加工センター

7名の制度と任用は?
地域おこし協力隊員
町長の答弁等から

隊員名(敬称略)	異動元	雇用形態	活動内容	活動開始時期
磯田 和紀	大阪府	会計年度任用職員(任用型)	ファーミライズ株式会社にて、いちご栽培・PR	R6.5~
松野 隆太	大阪府		教育委員会にて子どもスポーツ振興	R6.5~
名和川 淳	群馬県		多文化共生推進・地域日本語教室開催	R7.5~
萩原 大将	長崎県	委託型 企業雇用型(企業の社員)	陸上養殖、フィッシング&クルージング事業	R7.4~
田中 すみれ	長崎県		日々研究所株式会社、地域コーディネーター	R7.5~
島原 寿伸	千葉県		日々研究所株式会社にて、空き家等の活用	R7.8~
大里 陽子	千葉県		FORTHEES(フォーティーズ)にてお茶栽培・PR	R7.12~



オスプレイ、大野原演習場使用の情報提供は



NBCデータ放送、ホームページ、町公式ラインを活用

(本稿は、質問者の責任で作成しています。)



かまえ ひろみつ 浩光

フル化物洗口および予防接種の状況は?

【議員】
緊急風しん対策事業の対象者、抗体検査、予防注射

【議員】
フル化物洗口推進協議会において経年データより小中学校生、う蝕病者、初期虫歯数は、減少傾向。

【議員】
フル化物洗口を実施した結果は。



名 称	実施率
ひまわり園	95.2
山田こども園	95.2
千綿小学校(低学年)	90.3
千綿小学校(高学年)	90.3
彼杵小学校(低学年)	94.2
彼杵小学校(高学年)	94.0
東彼杵中学校	90.4
対象施設 平均値	90.9

【議員】
フル化物洗口の各認可保育園、各小学校及び中学校の実施率は。

【町長】
令和6年度の実施率は、84.1%。

【町長】
の受診人数、特例措置は。
対象者数721名、抗体接種数61名。追加対策は、抗体検査で陰性だった方で、令和6年度、麻しん、風しんワクチンの供給不足により、予防接種を受診できなかつた方は、令和8年度末まで延長。

【議員】
フル化物洗口の実施率は。

【議員】
令和7年度の高齢者インフルエンザ接種者1522名、コロナワクチン接種533名、対象者、接種率は。

【議員】
対象者2961名、インフルエンザ接種率51%。新型コロナワクチン接種率18%。

【議員】
令和6年度の高齢者インフルエンザ接種者125名、接種率8.8%。

【議員】
令和6年度から実施された帯状疱疹ワクチンの対象者、接種者、接種率は。

【議員】
屯地にオスプレイ17機が移転完了。10月31日に大野原演習場の飛来計画について連絡は。

【議員】
オスプレイの大野原演習場の使用は?
種者、1回目90名・2回目68名。接種合計165名、接種率26%。

【議員】
令和7年10月末で対象者628名、生ワクチン接種者7名、不活化ワクチン接

【議員】
令和7年度から実施された帯状疱疹ワクチンの対象者、接種者、接種率は。

【議員】
常に本町上空を通過している事は承知。騒音の範囲や安全性への懸念がある事は認識。町民の生命安全を守ることから、九州防衛局へ飛行ルート、安全対策についても十分な情報提供と説明を果たすよう求めた。騒音測定は、九州防衛

【議員】
町民の方から騒音及び国内外で、墜落事故が報告され安全性への懸念は根強いものです。町長の考えは。

【議員】
10月24日に九州防衛局から10月31日以降に大野原演習場で訓練実施の連絡。飛来計画が、気象状況等の影響で、延期は伝えられていません。10月31日以降いつでも夜間飛行訓練の可能性が伝えられています。

【議員】
10月31日に大野原演習場の飛来計画について連絡は。

【議員】
大野原演習場のオスプレイの訓練情報提供は。
周知方法は、NBCデータ放送、ホームページ、町公式ラインを活用し周知しています。

【議員】
オスプレイ(v-22)飛来に伴う迷惑料の助成金増額要望は。

【議員】
現状、離合が困難となる状況は確認していないので、オスプレイに限らず自衛隊車両の大型化や交通に支障が生じた場合、通行時間帯の通行、道路拡幅要望を含め必要な対応を考えたい。

【議員】
オスプレイ飛来に伴う迷惑料の助成金増額要望は。



議員

町独自の物価高対策は?

町長

年内に対策の予算化を行う

(本稿は、質問者の責任で作成しています。)



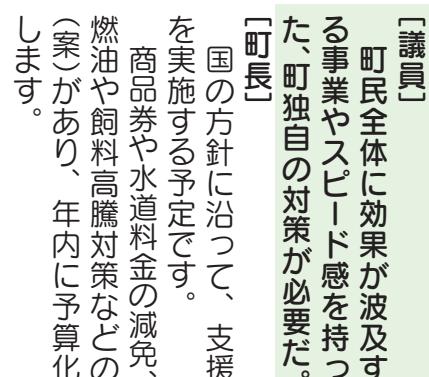
こだま たかゆき
児玉 隆行

物価高騰の対策は?

コロナ禍において、原材料価格や物流費（人件費等）の高騰を受け、幅広い分野での値上がりが続き、家計に大きなダメージを与えていた。町民全体に効果が波及する施策やスピード感を持つた町独自の対策が必要だと考える。

【対象者別割合】	①商工事業者 (24%)	②町民全体 (21%)	③農畜産農家 (13%)	④子育て世帯 (31%)
【目的別事業費】	①感染拡大防止費 (1億3千万円)	②生活支援費 (1千万円)	③地域経済支援費 (3億5千万円)	④物価高騰対策費 (2億9千万円)
⑤低所得世帯給付費 (2億6千万円)				

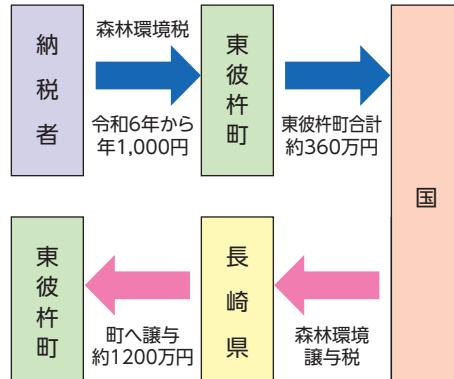
【議員】
町が実施した感染拡大防止や経済対策の事業及び費用は。
【町長】
総額は、10億4千万円です。この内、国からの交付金は、9億6千万円です。



森林環境譲与税の活用は?

昨年から譲与税の財源となる「森林環境税」が、1人当たり千円課税されている。森林整備が喫緊の課題であること踏まえ、毎年、「森林環境譲与税」が町に譲与されている。山林が多い本町の森林整備に、有効的に活用する必要があると考える。

【議員】
保育間伐と高性能機械導入の補助を行います。また、基金を活用し、公共施設への木製品の導入を進めます。
【町長】
譲与税を活用した、今年度の事業は。



通学路の安全対策は?

国道205号の抜け道に使われ、住民以外の車両が多い彼杵小学校周辺の町道には、進入規制や速度規制が実施されている。通学する児童生徒が多く、更なる対策が必要と考える。

【議員】
この区域の徒歩で通学する児童・生徒の数は。
【教育長】
彼杵小学校45名、東彼杵中学校19名です。

【議員】
駐在所前に設置された、ハンプ（凸部）の効果は。
【町長】
平均速度2キロの減、通行量は3割減の状況です。



本町駐在所前のハンプ（凸部）



抹茶ブーム・どうするそのぎ茶!



てん茶と付加価値のお茶で勝負!

(本稿は、質問者の責任で作成しています。)



よしなが ひでとし
吉永 秀俊

「町長」
令和4年は32軒、6年は25軒でこの2年間で7軒も廃業されている。

「議員」
この2本に絞った戦略を考えなければならない時期に来ていると思う。

「町長」
全国的にみて生産量の小さな本町に於いては
①てん茶生産量の拡大
②有機栽培等による付加価値の高いお茶

この2本に絞った戦略を考えなければならない時期に来ていると思う。

「議員」
世界的抹茶ブームで、京都宇治、鹿児島県ではてん茶に転身する農家が急増しており、日本のお茶産業は大きな転換点を迎えている。そのぎ茶の持続可能な戦略は。

「町長」
世界的な抹茶ブームで、てん茶が急増している。JA等のてん茶工場新設については、町としても最大限の協力を考えたい。

「議員」
鹿児島では9月以降の下級品とされる秋冬番茶が、一番茶より高くなり、大きな話題となっている。本町でもJAのてん茶工場計画があると聞くが。

「町長」
嬉野市は60kgラインで2窯造り、この中から一番いいものを出品している。窯数と出品者を増やし、今まで以上に品評会に力を入れたい。

「議員」
平成29年から4年連続日本一になって以来、色々な広告媒体でそのぎ茶のPRをされているが、なかなか知名度が上がっていない。特に、ここ3年間賞が取れていらない。最大の宣伝効果は日本一になる事と思う。嬉野は市民が手摘した茶葉を半分程度に選別して出品している。品評会用に特化した物を作るべきでは。

「議員」
4月に行われた全国学力調査の正答率は、長崎県では小中学校全ての教科で、全国平均以下だったが、本町の成績は。

「教育長」
先生のスキルアップのため、毎年オンライン研修を行っている。また、先生を補佐する支援員も各学校に配置されています。

「議員」
歴代の町長や現町長も「教育の町づくり」を目指され、本町は県内でも特にICT教育の先進的町とされているが、ICT教育には課題もある。教職員のITリテラシー、すなわち先生方の機器を使いこなせる能力の研修は。



道の駅の抹茶ブーム



千綿小学校授業風景

「教育次長」
プライバシー保護で正確な調査はできませんが、教室には持ち込めないようになっています。また、インターネット環境がない家庭にはモバイルルーターを10台ほど貸し出しています。

「議員」
中学生のスマホ所有率は、また、各家庭でのインターネット環境は十分なのでしょうか。

「教育長」
学校別には発表できないことになっています。本町では中学生の国語を除き、すべて全国平均以下でした。

ひじまち 日出町に学ぶ！社会人口増と定住促進

総務厚生常任委員会研修（令和7年11月29日）

（1）日出町の概要

総人口27,647人の町ですが、年少人口割合 13.1%で大分県内1位、老齢人口割合 31.6%（県内16位）と人口年齢構成が理想的な町であるといえます。



（2）人口・世帯数の推移

平成24年度まで人口数は増加、その後緩やかな人口減少となっていますが、その要因は「社会人口増」の定着が挙げられています。

（3）異動人口の推移

日出町は転出よりも転入が多い状況が続いております。令和5年度はプラス76人、令和6年度はプラス44人でした。その主な要因は下記事項が考えられます。

- ア) スーパーマーケット、ドラッグストア、家電量販店、飲食店など日常生活に必要な商業施設が整っている。
- イ) 病院数22軒（特に総合病院3院、小児科3院）と医療機関が充実している。
- ウ) 保育施設も13施設と子育て環境が充実している。
- エ) 大分市、別府市や空港へのアクセスに恵まれていることなど、交通の利便性が高い町として県内でも高い評価を得られている。



「義務教育学校」の先進地に学ぶ！

産業建設文教常任委員会研修（令和7年11月30日）

小中一貫校は小学校と中学校が組織上分かれしており、義務教育学校では小中学校の区切りがないため、カリキュラムの柔軟な運用や、9年間を見通した計画的な指導が可能とされています。

（1）小中一貫校を経て義務教育学校へ

佐賀県多久市で最初に行われた小中一貫校スタート前は、中学生による小学生へのいじめがあるのでないかといった不安があったが、義務教育学校へ移行し芽生えたのは、小学校の運動会で中学生が小学生をアシストしたり、小学校の入学式で中学3年生が小学1年生の手を引いて入場するなど、小さいという子の存在が醸成され優しさを育み交わり、「中1ギャップ」が解消され、問題行動が大幅に減少し、不登校やいじめも減って学力の向上にも繋がっており、義務教育（6-3制）制度における経験しかない多くの教職員は、義務教育学校に移行してその意識が大きく一変したことでした。



（2）成果と課題

成果は、問題行動の減少（特に後期課程）や、教職員間での児童生徒に関する情報共有が容易となり、9年間の系統性のある教育課程・カリキュラムの編成ができ、全教職員が義務教育のスタート（1年生）とゴール（9年生）を認識できる点があげられました。

課題は、地域等、関係各種の連携（コミュニティー・スクールの活性化）、義務教育学校としての文化継承（移動1年目の教職員への研修）、生徒指導（不登校児童生徒の減少に向けた取組の強化）、学習指導（学習内容の定着に向けて振り返り活動の充実）があげられました。

（3）視察の考察

多久市で行われている義務教育学校は、少子化が著しい本町が学ぶ事例が多く、当委員会は、同様なケースが執行されている市町への教育行政視察を継続し、本町執行部への提言に繋げたい。

三町議員研修会

令和7年11月14日

東彼杵郡内（川棚町12名、波佐見町12名、東彼杵町8名）の議員が参加

1. 株式会社NOMURA（社長）野村一氏による「長崎県の水産業と東彼杵町の陸上養殖」の講演
2. 現地視察
 - ① オスプレイ夜間飛行訓練が実施される大野原演習場
 - ② 県内初の陸上養殖場（株式会社 NOMURA）
稚魚5cm（熊本県産を購入）⇒養殖（約14ヶ月）⇒そのぎんサーモン【出荷】
 - ③ 東彼杵町歴史民俗資料館



自治会との意見交換会



樋口自治会（10月27日・左側）
及び小音琴自治会（11月13日・右側）において、町の現状や計画についての、活発な意見交換が行われました。



議員写真館



坂本浮立



消防団秋季総合教育訓練



東彼杵中学校体育大会

大人の部活動紹介

第2回

【部活名】 蔵本浮立保存会

【部員数】 50名

【発 足】 約220年前

【練習日】 毎週月・水・金曜日 19時～
(蔵本 改善センター)

【今後の目標】

発祥が1804年以前とされています。この伝統芸能を継承していくのは難しい時代となりましたが、地域のご理解とご協力を得ながら、後継者の育成に尽力したいと思います。

ながさきピース文化祭2025での実演



練習風景



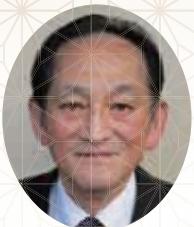
【今年の主な活動】

例年は、8月9日の「十二社大権現祭(浜宮様)」、8月17日の「滝の観音祭」並びに「彼杵祇園祭」に奉納浮立をしておりましたが、近年は、十二社大権現祭だけとなりました。今年度は、教育委員会から「ながさきピース文化祭2025」に招待を受けて、良い練習ができ、心地よい緊張のなかでのご披露となりました。

【主将(滝川初夫 保存会会長)からの一言】

私達が、先代から受け継いで半世紀以上になります。後継者の皆様はよく努力されて、かなり上達されました。今後とも一緒に精進したいと思います。

議長年頭あいさつ



新年 明けましておめでとうございます。

町民皆様方に於かれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。町議会に対しましては、平素から暖かいご理解とご協力を賜り、心からお礼と感謝を申し上げます。

現在、社会を取り巻く環境は、アメリカの相互関税や円安により、生産資材や日常生活における物価高騰で、国民の生活は一段と厳しさを増しております。国も色々な手立てを打ってくれていますが、実感としてなかなか伝わっていないのが現実ではないでしょうか。本町においても企業誘致や大型店舗進出計画もが取りざたされていますが、前述のような状況の中でなかなか思うように進まないのが現状です。

昨年は、戦後80年、被爆80年の年でしたが、ウクライナ紛争や中東での紛争を知る限り、平和であることの有難さが伝わってまいります。今後、私たちは、国際社会の状況を見極めながらそれぞれの立場において対処していかねばなりません。目まぐるしく変化する社会情勢の中で議会も一昨年から一般質問のDVD貸し出しや、昨年からはタブレットによるペーパーレス議会を実施しています。議会としても町発展のためには、町民皆様方のお声を拝聴し、また、先進地視察などを実施し、うま年にちなんで駆け巡りながら全力で取り組む覚悟です。今年も、町民皆様方にとって素晴らしい年になることを心からご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。



町民の皆様に「見やすい」、「読みやすい」紙面づくりを目指しています。

(議会広報編集常任委員会)

